

## 基本方策1 確かな学びと自立を育む教育の充実

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育み、将来の社会を担う人材を育成するためには、子どもの学習意欲を向上させるとともに、基礎的な学力や自ら学び考える力を伸ばしていくことが求められています。

中学校区で共通の9年間を見通した教育課程の編成、小・中学校の円滑な接続など、「小中一貫教育」を推進することで、教職員の指導力や学校力の向上を図り、子どもたちの確かな学力と自立を育みます。

また、小学校において本市独自の少人数学級編制を実施し、よりきめ細かな指導を実践するとともに、グループ学習やICTの活用等による協働型・双方向型の授業を推進します。

さらに、諸外国の文化や習慣等について理解を深める国際理解教育を推進し、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力を育成するとともに、学校図書館の活用による言語能力の育成や、労働・職業について学び、自らの生き方を考えるキャリア教育を推進します。

以上を効果的に進めることを土台として、今後、新しい時代を生きる上で必要な資質・能力を確実に育むため、学習指導要領の改訂を見据え、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習をさらに充実させるなど、子どもたちの「自立」「協働」「創造」する力を育む新しい教育に向けた取り組みを進めます。

### 主要事業の進捗状況

① 学校 ICT 機器等整備業務		担当課	教育政策課
概要		進捗状況	事業費計
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 全小・中学校の授業用コンピュータ機器等の維持・管理を行う。</li> <li>◆ ウイルス対策ソフトやフィルタリングソフトを適正に更新し、情報セキュリティの確保を図る。</li> <li>◆ 平成 31 年度に更新を予定している授業用コンピュータについて、仕様の検討及び作成を行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 小・中学校の授業用コンピュータ機器等の維持・管理を行っている。</li> <li>◆ 教員の授業における ICT 活用を推進する人的サポートを、タブレット型コンピュータを導入している学校に対して月 2 回行っている。</li> <li>◆ フィルタリングソフト内容の検証を行い適正な環境になるように更新した。また、情報セキュリティの確保のため、教職員を対象に研修を行った。</li> <li>◆ 平成 31 年度の機器整備に向け、他市の状況のヒアリングを行うなど、必要なソフトウェアの選定作業や仕様の検討を行っている。</li> </ul>	予算額 (千円) 129,390 実績値及び目標値の説明 授業用コンピュータ 1 台あたりの児童・生徒数 (目標値の根拠) 実行計画に基づく平成 30 年度目標値 実績値 (人/台) 8.6 目標値 (人/台) 8.6 達成割合 (%) 100.00
関連計画	第 5 次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針	
	実行計画	平成 29 年度当初実行計画	
	関連計画	—	
		評価	

② 枚方市少人数学級充実事業		担当課	教職員課
概要		進捗状況	事業費計
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 府内の公立小学校では、小学校第 1 学年及び第 2 学年で、1 学級 35 人以下の少人数学級編制が実施されているが、本市では、支援学級在籍児童を含んで 1 学級 35 人以下とする市独自の少人数学級編制を第 4 学年まで実施するため、学級数が増える学校に対し</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 支援学級在籍児童を含めて 35 人以下とする本市独自の少人数学級編制を小学校第 4 学年まで拡充して実施するため、市費負担任期付職員の採用・配置などに取り組み、平成 27 年度から第 4 学年までを対象として実施し、第 5・第 6 学年については、支援学級</li> </ul>	予算額 (千円) — 実績値及び目標値の説明 指標の見直しを含めて検討中

て市費負担任期付教員を採用し配置する。また、第5・第6学年については、支援学級在籍児童を含む40人学級編制を平成30年度から実施する。		在籍児童を含む40人学級編制を平成30年度から実施した。	実績値 (%)	—
			目標値 (%)	—
			達成割合 (%)	—
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子供たちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	/
	市長公約	平成30年度市政運営方針		
	実行計画	平成30年度当初実行計画		
	関連計画	—		

③ 小中一貫教育推進事業		担当課	教育指導課	
概要		進捗状況		
<p>○学力向上の取り組み</p> <p>◆全中学校区にコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会等の充実を図り、組織的な取り組みを推進するとともに、学力向上・授業づくりに高い見識を有する学識経験者を招聘し、教員の授業力向上を図る。</p> <p>また、全国学力・学習状況調査実施後すぐに、教員が問題分析・自校採点及び分析を行い、学校全体として課題及び個々の課題にも正対した取り組みを行うとともに、教科会・学年会における授業研究の推進を図る。</p> <p>また、児童・生徒一人ひとりの課題を踏まえ、宿題や自学自習ノート等、家庭における学習習慣の充実に努める。</p> <p>○体力向上の取り組み</p> <p>◆各小中学校で、全児童・生徒を対象に体力テストを実施し、その結果に基づいて体力向上推進計画を作成・実践するとともに、大阪体育大学と連携して、授業改善をはじめ児童・生徒の体力向上に向けた取り組みを推進する。</p>		<p>○学力向上の取り組み</p> <p>◆全中学校区に学力向上に特化したコーディネーターを配置するとともに、学力向上委員会や教科会、学年会など校内組織体制の充実を図りながら、授業改善や少人数指導など学力向上に向けた取り組みを推進している。</p> <p>研究指定校や学力向上担当者研修において、学識経験者による講義、指導助言によって、教員の授業力向上を図っている。</p> <p>また、全国学力・学習状況調査について、問題分析・自校採点及び調査結果の比較・分析を行い、分析結果をもとに教科会・学年会において授業研究の推進を図った。また、教職員の意識を高めるとともに、保護者に学力状況をわかりやすく公表することで家庭と連携した学習習慣の確立に努めている。</p> <p>○体力向上の取り組み</p> <p>◆各小中学校で、全児童・生徒を対象に体力テストを実施した。その結果に基づいて体力向上推進計画を作成・実践している。</p>	<p>事業費計 予算額 (千円)</p> <p>17,867</p>	
		実績値及び目標値の説明	<p>全国学力・学習状況調査の学力調査の平均正答率(目標値の根拠) 全国平均以上及び対前年度比向上</p>	
		実績値 (%)	<p>[小学校] 国語A : 69.00 国語B : 53.00 算数A : 64.00 算数B : 52.00</p> <p>[中学校] 国語A : 77.00 国語B : 62.00 数学A : 67.00 数学B : 49.00</p>	
		目標値 (%)	<p>[小学校] 国語A : 70.70 国語B : 54.70 算数A : 63.50 算数B : 51.50</p> <p>[中学校] 国語A : 76.10 国語B : 61.20 数学A : 66.10 数学B : 46.90</p>	
		達成割合 (%)	<p>[小学校] 国語A : 97.60 国語B : 96.89 算数A : 100.79 算数B : 100.97</p> <p>[中学校] 国語A : 101.18 国語B : 101.31 数学A : 101.36 数学B : 104.48</p>	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	/
	市長公約	平成28年度市政運営方針		
	実行計画	平成30年度当初実行計画		
	関連計画	—		

④ 学校園活性化事業		担当課	教育指導課
概要		進捗状況	
◆全学校園を学校園活性化推進校園として指定し、教育課題の解決や教職員の資質向上を図るため、校（園）内研修の充実を進めるとともに、年1回以上教職員対象の公開授業を実施し、授業改善等に活用する。また、菊咲かそう体験事業や、小学生陸上競技大会、小学生駅伝競走大会、小学生合同音楽会等の教育委員会が主体となる事業を実施する。		◆全学校園において、教育課題の解決や教職員の資質向上に向けて、教育活動の活性化、公開授業の実施、校内・園内研修の充実等の取り組みを行っている。 また、全学校園で菊咲かそう体験事業を取り組むとともに、教育委員会主催事業として、10月に小学生陸上競技大会を実施予定。 小学校合同音楽会については、地震の影響で会場が使用できなくなったため、各小学校において参観日などに合わせ開催した。  (平成30年9月末日現在) ・外部講師を招聘して実施した校内外研修の回数 124回	
		事業費計 予算額 (千円)	32,718
		実績値 及び 目標値 の説明	全国学力・学習状況調査の質問紙調査において「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答をした児童・生徒の肯定的な回答の割合（目標値の根拠） 全国平均以上及び対前年度比向上
		実績値 (%)	小：79.00 中：80.30
		目標値 (%)	全国平均 小：77.70 中：76.30 対前年度 小：67.80 中：65.70
		達成割合 (%)	全国平均 小：101.67 中：105.24 対前年度比 小：116.52 中：122.22
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	市長公約	—	
	実行計画	—	
	関連計画	—	
		評価	

⑤ 英語教育推進事業		担当課	教育指導課
概要		進捗状況	
◆全中学校に外国人英語教育指導助手（NET）、全小学校に英語が堪能な日本人英語教育指導助手（JTE）を配置し、英語を使った体験的な学習の充実を図る。また、小学校に英語専科教員を新たに配置するとともに、日本人英語教育指導助手（JTE）を拡充し、小学校外国語活動の指導体制の強化を図る。 英語の4技能（「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」）をバランスよく育成するため、全市立中学校第2学年の全生徒を対象に4技能に対応した外部検定試験を実施し、その結果分析をもとに授業改善、個に応じた指導及び生徒の学習意欲の向上に活用する。 関西外国語大学と連携し、留学生との交流等英語を使った体験的な活動の充実を図り、より実践的な英語力を育む。		◆全小中学校に外国人英語教育指導助手（NET）、日本人英語教育指導助手（JTE）を配置し、英語を使った体験的な学習の充実を図っている。また、小学校4校に英語専科教員を配置するとともに、JTEを拡充し、小学校外国語活動の指導体制の強化を図っている。 関西外国語大学と連携し、10月20日（土）に「枚方英語村」を開催し、体験的な活動を通じてより実践的な英語力を育む。 外部検定試験については、10月下旬に全中学校で実施予定。  (平成30年9月末日現在) ・英語専科教員の公開授業：8回  ※指標に係る調査の実施時期：平成31年3月（予定）	
		事業費計 予算額 (千円)	160,127
		実績値 及び 目標値 の説明	アンケート調査において、「英語の授業が楽しい」と答えた児童・生徒の割合（目標値の根拠） 児童・生徒の満足度 100%
		実績値 (%)	—
		目標値 (%)	100.00
		達成割合 (%)	—

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	
	市長公約	平成30年度市政運営方針		
	実行計画	平成30年度当初実行計画		
	関連計画	—		

⑥ 読書活動推進事業			担当課	教育指導課
概要		進捗状況	事業費計 予算額 (千円)	56,080
<p>◆児童・生徒の言語能力を育むため、全中学校区に配置した学校司書と司書教諭が連携して、義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図る。</p> <p>市立図書館と連携した学校図書館の環境整備、児童・生徒の読書習慣の確立、調べ学習等授業における学校図書館の活用を推進する。また、中央図書館と連携して全中学校が参加する「ビブリオバトル」を実施する。</p>		<p>◆児童・生徒の言語能力を育むため、全中学校区に学校司書を配置し、学校司書と司書教諭が連携して、児童・生徒の読書習慣の確立、調べ学習等授業における学校図書館の活用を推進している。</p> <p>また、市立図書館と連携して学校図書館の環境整備を行っている。</p>	実績値及び目標値の説明	全国学力・学習状況調査の質問紙調査において学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童・生徒の割合 (目標値の根拠) 対前年度5ポイント向上
			実績値(%)	小: 59.90 中: 47.30
			目標値(%)	小: 65.50 中: 46.80
			達成割合(%)	小: 91.50 中: 101.07
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	
	市長公約	平成28・29・30年度市政運営方針		
	実行計画	平成26年度当初実行計画		
	関連計画	第2次枚方市子ども読書活動推進計画		

⑦ 放課後自習教室事業			担当課	教育指導課
概要		進捗状況	事業費計 予算額 (千円)	50,516
<p>◆児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、基礎学力の向上を図るため、全小・中学校の放課後自習教室を開室し、より多くの児童・生徒の学習機会の充実を図る。また、全小・中学校に配備しているパソコンの自学自習力支援システムを、朝学習、授業、放課後学習、家庭学習において活用して、日々の学びの連続性の確立と家庭学習の充実に取り組み、児童・生徒の自ら学ぼうとする力の育成と基礎・基本の定着を図る。</p>		<p>◆児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、基礎学力の向上を図るため、各小・中学校の放課後自習教室を開室し、児童・生徒の学習機会の充実を図っている。また、全小・中学校に配備している児童・生徒一人ひとりの理解度に応じてプリント学習ができる自学自習力支援システムを、放課後自習教室をはじめ、授業や朝学習・家庭学習で活用することで、児童・生徒の自ら学ぼうとする力の育成と基礎・基本の定着を図っている。</p> <p>(平成30年9月末日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>放課後自習教室の開室: 小学校 1,451回、中学校 620回</li> <li>放課後自習教室の参加人数: 小学校 38,805人、中学校 4,499人</li> </ul>	実績値及び目標値の説明	放課後自習教室の実施回数 (目標値の根拠) 年間80日開室(64校)
			実績値(回)	2,071
			目標値(回)	5,120
			達成割合(%)	40.45
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	
	市長公約	平成28年度市政運営方針		
	実行計画	平成28年度当初実行計画		
	関連計画	—		

## 基本方策2 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

近年、子どものコミュニケーション能力や社会適応能力、体力・運動能力の低下が課題となっており、子どもの豊かな人間性や社会性、健やかな体が育まれる環境づくりが求められています。

道徳教育・人権教育などを通じて、規範意識を培い公共の精神と自らを律する力を育むとともに、自他の生命や平和を大切に作る心を養い、子どもたちが豊かな人間性を身につけるための教育を充実させます。

また、生活習慣の未確立やアレルギー疾患の増加など、子どもの健康に関する課題が多様化していることを踏まえ、健全な食生活の形成のための食育の推進や、食物アレルギーへの対応など安全で安心な学校給食を提供し、健やかな体が育まれる環境づくりを推進します。

さらに、心身を鍛錬し、豊かな心と社会性を養うため、文化・芸術に親しむ機会や、自然を生かした野外活動など、体験活動を拡充させるとともに、部活動の充実を進めます。このため、外部指導者など多様な社会人の活用を図ります。

### 主要事業の進捗状況

① 学校給食における地元農産物利用促進事業		担当課	おいしい給食課
概要		進捗状況	
◆安全・安心でおいしい学校給食の提供のため、小学校給食用食材として大阪府内産を含めた地元農作物の利用促進を図り、第3次枚方市食育推進計画の目標である「米・野菜類全体購入量に対する枚方産及び府内産購入量の割合を(重量ベース)38%」の達成に向け、取り組みを進める。		◆野菜類については、枚方産・府内産合わせて9品目で14トン、うち枚方産は7品目9トン(玉ねぎ、えんどう豆、黒米、じゃがいも、かぼちゃ、なす、冬瓜)を使用した。また、米については、大阪産「ヒノヒカリ」を含め北河内産米90トンを使用した。以上の結果、平成30年4月～9月の枚方産及び府内産購入量の割合は33.2%となっている。	
		事業費計 予算額 (千円)	—
		実績値 及び 目標値 の説明	地元農産物の割合 (目標値の根拠) 第3次枚方市食育推進計画の目標
		実績値 (%)	33.20
		目標値 (%)	38.00
		達成割合 (%)	87.37
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	市長公約	—	
	実行計画	—	
	関連計画	第3次枚方市食育推進計画	
		評価	

② 食物アレルギー対応推進事業		担当課	おいしい給食課
概要		進捗状況	
◆食物アレルギー対応の適切かつ的確な取り組みを進める。 ◆学校給食における食物アレルギー対応上の事故(救急搬送)件数(新規発症を除く)が0件となるよう、より一層の安全を確保する。 ◆中学校給食において、7大アレルギーを使用しない代替食の提供を毎日行う。		◆中学校給食において、毎日7大アレルギーを使用しない代替食の提供を行っている。また、小学校給食において、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づいた統一の対応を実施している。 ◆ヒヤリハット・事故報告の蓄積を行っている。	
		事業費計 (千円)	—
		実績値 及び 目標値 の説明	アレルギー対応をしている児童における事故(救急搬送)件数 (目標値の根拠) アレルギー対応をしている児童における事故(救急搬送)がないこと。
		実績値 (件)	0
		目標値 (件)	0

			達成割合 (%)	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	/
	市長公約	—		
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画		
	関連計画	—		

③ 学校園健康管理事業			担当課	学務課
概要		進捗状況	事業費計 予算額 (千円)	19,770
◆学校内科医、学校歯科医、学校眼科医、学校耳鼻科医、学校薬剤師、腎臓検診医、歯科衛生士による幼稚園7園、小学校45校、中学校19校で内科、歯科検診などの健康診断、健康相談、臨時健康相談、感染流行時の指導、学校環境衛生の維持管理及びブラッシング指導を実施している。		◆全学校園を対象に内科・歯科・眼科検診を、小学校第1・3学年及び中学校第1学年を対象に耳鼻科検診を学校医で行った。学校薬剤師による空気、飲料水、プール水質、照度の検査等行なった。また、歯科衛生士によるブラッシング指導を全幼児、小学校では各小学校で学年を決めて行なっている。健康相談は、専門的な観点な立場から学校及び児童・生徒の支援を行なっている。	実績値及び目標値の説明	学校内科医1人あたりの幼児児童生徒数 (目標値の根拠) 「枚方市立学校園の学校園医の委嘱等に関する要綱」を基に算出
			実績値 (人)	312
			目標値 (人)	330
			達成割合 (%)	105.45
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	/
	市長公約	—		
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画		
	関連計画	—		

④ 健康診断事業			担当課	学務課
概要		進捗状況	事業費計 予算額 (千円)	31,196
◆全学校園において学校保健安全法に基づく健康診断を実施する。		◆結核診察(全児童・生徒)、尿検査(全幼児・児童・生徒)及び心臓検診(小学校第1学年・中学校第1学年)耳鼻科検診(小学校第1・3学年、中学校第1学年)、眼科検診(全幼児・児童・生徒)、に対して行なった。脊柱側弯(モアレ)検診(小学校第5学年・中学校第1学年)は12月に予定している。 総受信者数：31,780人 総対象者数：32,120人	実績値及び目標値の説明	健康診断受診率 (目標値の根拠) 対象者全員
			実績値 (人)	31,780
			目標値 (人)	32,120
			達成割合 (%)	98.94
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	/
	市長公約	—		
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画		
	関連計画	—		

⑤	小中一貫教育推進事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課
---	-------------------------	-----	-------

⑥	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課
---	-----------------------	-----	-------

⑦	部活動指導協力者派遣事業		担当課	教育指導課
概要		進捗状況		事業費計
◆部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣する。		◆各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣し、部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の負担軽減を図っている。 (第1学期派遣回数：1,343回)		予算額 (千円)
				実績値 及び 目標値 の説明
				中学校部活動指導協力者の派遣回数 (目標値の根拠) 派遣回数の上限(1校あたり370回)
				実績値 (回)
				1,343
				目標値 (回)
				7,030
				達成割合 (%)
				19.10
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		評価
	市長公約	平成28・30年度市政運営方針		
	実行計画	平成28年度当初実行計画		
	関連計画	—		

⑧	学校支援社会人等指導者活用事業		担当課	教育指導課
概要		進捗状況		事業費計
◆各教科の指導補助、総合的な学習の時間、特別活動など優れた知識や技能を有する多様な人材を学校教育に活用することで学校の教育活動を活性化を図る。		◆学校園51校(園)において、和楽器指導やキャリア教育における職業講話など学校支援社会人等指導者の活用を図り、学校の教育活動の活性化を図っている。		予算額 (千円)
				実績値 及び 目標値 の説明
				学校支援社会人等指導者を活用した回数 (目標値の根拠) 活用回数の上限(1校園あたり約22回)
				実績値 (回)
				514
				目標値 (回)
				1600
				達成割合 (%)
				32.13
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		評価
	市長公約	—		
	実行計画	—		
	関連計画	—		

⑨		野外活動センター利用促進事業		担当課	スポーツ振興課
		概要	進捗状況	事業費計	
		◆野外活動センターの利用増を目指し、学校キャンプ（日帰り・宿泊）を実施しやすくするため、企画段階からサポートを行い、学校ニーズに対応した学校キャンプの促進を図る「学校キャンプ支援事業」を実施する。（平成 26 年度は試行。平成 27 年度～29 年度に本格実施。）	◆利用促進のために実施している「学校キャンプ支援事業」は、小学校 9 校の利用があった。また、中学校についても 4 校の利用があった。事業の 1 つとして、送迎用のバス借上げを行った。	予算額 (千円)	4,000
				実績値 及び 目標値 の説明	市内小学校のキャンプ利用件数 (目標値の根拠) 昨年度実績又は直近 3 年の平均のどちらか多い数
				実績値 (件)	9
				目標値 (件)	25
				達成割合 (%)	36.00
関連計画	第 5 次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、 感動できるまち		評価	/
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針			
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画			
	関連計画	—			



### 基本方策3 教職員の資質と指導力の向上

本市においては新規採用教職員が増加し、経験豊かな多くの教職員の退職が続く中、教職員の世代交代が進んでおり、倫理観・規範意識及び子ども理解と集団づくり、授業力やマネジメント力など、教職員一人ひとりの資質と指導力の向上が求められています。

平成 26 年度からの中核市移行に伴い、大阪府より教職員研修の権限が委譲されました。そのため、『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもの『生きる力』をはぐくむをテーマに、本市の教育課題に即した独自のカリキュラム（指導計画）で教職員研修を実施し、「経験の浅い教職員の育成」「管理職及び専門性を備えたリーダーの養成」「小中一貫教育における学力向上に向けた授業づくり・授業改善への支援」を重点項目とした教職員研修の充実を図り、明日の枚方の教育を担う教職員を育成します。

また、教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を有する教職員を育成するため、授業の達人による研究授業等により、授業改善につなげることで、子どもたちの「確かな学力」と「生きる力」を育みます。このため、教育委員会の学校支援機能を充実します。

さらに、学習指導要領の改訂を見据え、授業改善や組織運営の改善にかかる「アクティブ・ラーニング」や「カリキュラム・マネジメント」など新しい教育課題に向けた研修にも取り組みます。

#### 主要事業の進捗状況

①	学校園活性化事業【再掲】※基本方策 1 に記載	担当課	教育指導課
②	枚方市教職員育成事業	担当課	教育研修課
概要		進捗状況	
<p>◆平成26年度からの中核市移行により、従来大阪府教育委員会が実施してきた府費負担教職員研修の初任者研修や10年経験者研修等の法定研修をはじめとする各種研修の多くを本市教育委員会が実施。</p> <p>◆『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもの『生きる力』をはぐくむことを目標に、「経験の浅い教職員及びミドルリーダーの育成」「学力向上に向けた授業づくり・授業改善の推進」「校内研究支援」（授業研究・授業改善・学校支援）の3点を重点項目とし、「基本研修」及び「専門研修」を計画・実施。</p> <p>◆新学習指導要領を踏まえた授業づくり、授業改善及び教員の授業力の向上等に向け、指導主事や教育推進プランナー（学校教育に関して高い見識や経験を有する校長経験者等）が学校園を訪問し、経験の浅い教員への指導助言、校内研修等での指導助言、学校運営への支援を実施。</p> <p>◆枚方市が取り組んでいる「教育」を広く市民に情報発信するとともに、今後の枚方の「教育」の方向性について市</p>		<p>◆平成30年度は、平成29年度に引き続き、「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもの『生きる力』をはぐくむ」をテーマに、①経験の浅い教職員及びミドルリーダーの育成 ②学力向上に向けた授業づくり・授業改善の推進 ③「校内研究支援」（授業研究・授業改善・学校支援）を重点項目として、本市の教育課題に応じた独自のカリキュラムのもと、初任者研修や10年経験者研修をはじめ、教職員の経験・職務に応じた基本研修及び教育課題や教科等の専門性を高める専門研修を実施し、教職員の資質・指導力の向上を図っている。</p> <p>平成30年9月末時点で基本研修を95回、専門研修を44回実施した。</p> <p>また、指導主事、教育推進プランナーによる経験の浅い教員の研究授業への指導助言及び学校運営等への支援を681回行った。</p> <p>加えて、校内の研究体制づくりや教員の授業改善、子どもたちの学力向上に向け、指導主事、教育推進プランナー等が学校を訪問する「校内研究支援」（授業研究・授業改善学</p>	
		事業費計 予算額 (千円)	4,232
		実績値 及び 目標値 の説明	研修を受講した教職員が各学校園において会議等で伝達したり授業等で実践した割合 (目標値の根拠) 研修の実質的効果。
		実績値 (%)	—
		目標値 (%)	100.00

民と共有する場として「枚方市教育フォーラム」を実施。		校支援)を91回(小学校69回・中学校22回)実施し、授業改善・学力向上の取り組みの推進を図っている。  ※年度末に研修の活用度(フィードバック)について、アンケートを集計する予定。	達成割合(%)	—
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	/
	市長公約	平成29年度市政運営方針		
	実行計画	平成28年度当初実行計画		
	関連計画	—		

## 基本方策4 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実

障害のある子どもをはじめすべての子どもたちが学校・地域社会の中で積極的に交流・活動し、「ともに学び、ともに育つ」教育を推進する必要があります。また、支援教育を進めるにあたっては、一人ひとりの自立に向けた効果的な指導・支援の充実が求められています。

障害のある子どもと障害のない子どもが交流や共同学習を通じ、ともに学び、互いを理解する教育を一層充実させるとともに、通常の学級においてユニバーサルデザインによる授業づくりに取り組みます。

また、平成28年4月施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」を踏まえ、障害のある子ども一人ひとりのニーズに応じた教育環境の整備を進めるとともに、支援教育に関する教職員研修の充実に取り組んでいきます。

さらに、支援教育コーディネーターを中心として配慮を要する子どもの支援を行うとともに、保護者、支援学校等の関係機関と連携し、支援が必要なすべての子どもについて全教職員の共通理解のもと、学校全体で支援教育の充実に取り組みます。

### 主要事業の進捗状況

① 支援教育推進事業		担当課	児童生徒支援室
<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援に関し、学校に専門家を派遣し指導・助言する。</li> <li>◆児童生徒支援室職員が、学校園、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施する。</li> <li>◆小・中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動時間を支援するために、非常勤講師を加配する。</li> <li>◆肢体不自由児介助員を配置し、小・中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の介助を行う。</li> <li>◆学校看護師を配置し、医療的ケアを必要とする幼児・児童・生徒の学校園における日常生活を支援する。</li> <li>◆肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施する。併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行う。</li> <li>◆支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び新設支援学級の設備整備を行う。</li> </ul>		<p>進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援のため、桜丘小学校、蹠蹠西小学校、杉中学校、蹠蹠中学校の4校に専門家を派遣し指導・助言を行っている。</li> <li>◆児童生徒支援室職員が、学校園、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施している。</li> <li>◆小・中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動時間を支援するために、非常勤講師を全小中学校に加配している。</li> <li>◆肢体不自由児介助員21人を配置し、小・中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の介助を行っている。</li> <li>◆学校看護師21人を配置し、医療的ケアを必要とする幼児・児童・生徒の学校園における日常生活を支援している。</li> <li>◆肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施する。併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行っている。</li> <li>◆支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び新設支援学級の設備整備を行っている。</li> </ul>	<p>事業費計 予算額 (千円)</p> <p>204,321</p>
		<p>実績値及び目標値の説明</p>	<p>支援教育に関する専門的な知識・技能をもつ専門家の派遣回数 (目標値の根拠) 小・中学校専門家、幼稚園巡回相談、理学療法士等は予算範囲。リーディングチームは前年度実績の1割増。</p>
		<p>実績値 (回)</p>	<p>193</p>
		<p>目標値 (回)</p>	<p>443</p>
		<p>達成割合 (%)</p>	<p>43.57</p>
<p>関連計画</p>	<p>第5次総合計画</p> <p>市長公約</p> <p>実行計画</p> <p>関連計画</p>	<p>基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち</p> <p>平成29・30年度市政運営方針</p> <p>平成28年度当初実行計画</p> <p>—</p>	<p>評価</p>

②	枚方市教職員育成事業【再掲】※基本方策3に記載	担当課	教育指導課
---	-------------------------	-----	-------

## 基本方策5 幼児教育の充実

少子化の進行、核家族化や男女共同参画社会の進展、ひとり親家庭の増加など、子どもの育ちや子育て支援へのニーズが多様化する中で、子どもの生きる力と個性を育む環境が求められています。幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を養う重要なものであり、さまざまな体験を通して幼児が心身ともに健やかな成長をとげられるよう、幼児一人ひとりの発達や特性に応じた取り組みを進める必要があります。

幼児教育の目的は「義務教育及びその後の教育の基礎を培う」ことであり、幼児期（幼稚園・保育所・認定こども園）の教育と児童期（小学校）の教育を円滑に接続・連携し、幼児一人ひとりの望ましい発達を育むとともに学級集団に応じた適切な指導を行います。

また、保護者の心身のリフレッシュや短時間就労などのニーズへ対応した預かり保育の実施や、地域の未就園児も含め、親子での遊びの場や保護者交流の場の提供、子育て相談の取り組みの推進など、保護者支援を充実させます。

### 主要事業の進捗状況

① 幼稚園保護者支援充実事業		担当課	教育指導課
概要		進捗状況	
◆幼稚園で一時預かりを実施し、幼児の心身の健全な発達を促すとともに、幼児教育の充実と保護者の子育て支援及び就労支援の充実を図る。また、幼稚園を、2・3歳の未就園児及び保護者が、安心して遊び、交流できる場として提供し、家庭の教育力を高めるとともに、子育て不安の軽減等を図る。		◆幼児の心身の健全な発達を促すとともに、幼児教育の充実と保護者の子育て支援及び就労支援の充実を図るため、預かり保育を実施している。 (平成30年9月末日現在 参加人数：延べ4,280人) 幼稚園において、2・3歳の未就園児及び保護者が、安心して遊び、交流できる場として提供し、家庭の教育力を高めるため、幼児教育教室を実施している。 (平成30年9月末日現在 実施回数延べ2回)	
		事業費計 予算額 (千円)	15,092
		実績値 及び 目標値 の説明	保護者のニーズ（申し込み）に対する幼児教育教室及び預かり保育実施率 (目標値の根拠) ニーズ（申し込み）に対する実施率100%
		実績値 (%)	100.00
		目標値 (%)	100.00
		達成割合 (%)	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	市長公約	—	
	実行計画	—	
	関連計画	—	
		評価	

② 市立幼稚園における3歳児保育実施事業		担当課	教育政策課
概要		進捗状況	
平成30年度から全面実施の「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」において、就学前の子ども（3～5歳児）に対する共通の教育目標が示され、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として小学校教育でもこの姿を踏まえた教育課程の工夫が求められている。このように幼児教育が重要とされる中、教育内容の充実を図るため、市立幼稚園6園（枚方・高陵・蹉跎・田口山）において平成31年度から新たに3歳児保育を		◆「就学前の教育と保育施設に係るひらかたプラン（案）」の基本的な考え方に基づき、平成31年度に3歳児保育の実施および預かり保育時間を拡充するにあたり、関係条例等の改正、施設の改修、職員体制や備品等の整備を進める。 ◆平成31年度からの事業実施にあたり園児定数、預かり保育内容などを定めた園児募集要項を作成する。募集要項は10月から市民に配布し、各幼稚園において10月10日～15日まで応募	
		事業費計 予算額 (千円)	10,000
		実績値 及び 目標値 の説明	3歳児定員に対する入園児数 (目標値の根拠) 平成31年度3歳児定員 (25人×6園=150人)
		実績値 (人)	—

施する。 また、現在、1・2歳児の小規模保育事業に取り組んでいる4園（枚方・高陵・蹉跎・田口山）では3～5歳児の教育時間の前後に預かり保育を実施し、小規模保育事業と同様に開園（7時～19時）することで、在園児に対して切れ目のない教育・保育を提供する「枚方版子ども園」として開設する。		受付し10月17日に入園決定（抽選）を行う予定。		目標値 (人)	150
		達成割合 (%)	—		
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	評価		
	市長公約	—			
	実行計画	平成30年度9月補正実行計画			
	関連計画	—			

## 基本方策6 地域とともにある学校づくりの推進

近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりが必要であり、保護者や地域住民とともに学校運営を進める「地域とともにある学校づくり」の推進が求められています。

保護者や地域住民の理解や協力を得て、各学校において特色ある教育活動を展開していくため、子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みやコミュニティスクールなど学校運営に地域住民や保護者が参画する体制の構築に取り組みます。

### 主要事業の進捗状況

① コミュニティ・スクール推進事業		担当課	教育指導課
概要		進捗状況	
<p>◆保護者や地域住民等から構成され、学校運営や運営への必要な支援に関して協議する枚方におけるコミュニティ・スクールを小学校に順次に設置する。また、研究会等を開催し、枚方におけるコミュニティ・スクールの実践事例の紹介、設置校の取り組みの発信を行い、「地域とともにある学校づくり」を推進する。</p>		<p>◆枚方におけるコミュニティ・スクールを小学校5校(枚方第二・香里・氷室・山之上・川越小)において設置した。多くの学校で第1回目の協議会を実施し、校長が作成する学校運営の基本方針が承認されるとともに、学校と家庭、地域が連携・協働し、子どもたちの健やかな成長を支えていく学校づくりを進めていくことが確認された。また、各委員が実際に子どもたちの様子を見て、学校への理解を深めるため、学校行事や授業の参観等を行った。なお、協議会や授業の参観の様子を学校便りで情報発信をしている学校もある。</p> <p>※指標に係る調査の実施時期：平成 31 年 3 月 (予定)</p>	
		事業費計 予算額 (千円)	834
		実績値 及び 目標値 の説明	「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域のひととの協働による活動を行いましたか」に対して強い肯定的回答の割合 (目標値の根拠) 強い肯定的回答の割合 100%
		実績値 (%)	—
		目標値 (%)	100.00
		達成割合 (%)	—
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針	
	実行計画	平成 30 年度当初実行計画	
	関連計画	—	
		評価	

## 基本方策7 学びのセーフティネットの構築

近年、登下校時の交通事故や不審者等により子どもが犠牲となる事件・事故が生じており、子どもが安全で安心して学べる環境づくりが求められています。

また、インターネット等によるいじめや、学校生活や家庭環境などさまざまな理由による不登校等、生徒指導上の課題が深刻化する中、子どもたちが安全に安心していきいきと学校での時間を過ごせる環境づくりが必要です。

子どもが安全で安心して学べる環境づくりについては、オートロックや機械警備などによる学校施設内の安全確保や、地域で行われている子どもの安全を見守る活動との連携、防犯カメラなどによる通学路の安全対策の強化、不審者情報等の緊急情報を保護者にメールで配信するシステムを有効活用するとともに、近年の子どもが巻き込まれた事件・事故や、大規模災害の教訓を生かし、子ども自らが危険を回避する能力を養う安全・防災教育を推進します。

安全に安心していきいきと学校での時間を過ごせる環境づくりについては、学校・家庭・地域・関係機関が連携し、相談体制を充実させるとともに、学校においては、生徒指導体制の充実を図り、いじめの未然防止や早期発見、不登校児童・生徒への支援に取り組みます

また、貧困の連鎖を防止するため、生活困窮世帯の子どもに対する学習支援や、児童虐待について、中央子ども家庭センターや子ども総合相談センターなど関係機関との連携を強化します。

### 主要事業の進捗状況

① 学校安全監視事業		担当課	教育政策課
概要		進捗状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆全小学校の正門に設置した監視カメラ、正門のオートロック装置に連動したワイヤレスモニター子機付きインターホン及び監視カメラの映像を録画するデジタルレコーダーを活用し安全監視を実施する。</li> <li>◆来校者の多い時間帯や児童の下校時間に人的配置を行い、人の目による安全監視を行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆児童の安全・安心な学習環境の確保を行うために、監視カメラ等機器などの修繕等が必要に応じて行っている。</li> <li>◆来校者の多い時間帯や児童の下校時間帯等では、機器の活用だけではなく安全監視員などを配置し、人の目による監視を行い、子どもの安全を確保する環境を維持している。</li> </ul>	
		事業費計 予算額 (千円)	32,684
		実績値 及び 目標値 の説明	児童在校中の小学校への不審者の侵入件数（目標値の根拠）
		実績値 (件)	0
		目標値 (件)	0
		達成割合 (%)	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	市長公約	—	
	実行計画	—	
	関連計画	—	
		評価	

② 生徒指導充実事業		担当課	教職員課
概要		進捗状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆生徒一人ひとりの状況に応じた支援や指導をするため、生徒指導主事は、スクールカウンセラー等とより緊密に連携し、専門的な立場からアドバイスを受け、担任や学年に対しての指導・助言に当たる。教員は、生徒たちへの接し方を工夫し、一人ひとりに対</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆加配希望があった学校からの調書等、複数の観点から精査した結果、中学校7校に市費負担期付教員を1人ずつ配置し、1校には非常勤講師1人を配置した。</li> <li>現在、生徒指導主事が中心となって、生徒の実態を踏まえた人権教育等を</li> </ul>	
		事業費計 予算額 (千円)	—
		実績値 及び 目標値 の説明	認知したいじめの解消率及び暴力行為の発生件数。 ①認知したいじめの解消率

<p>してよりきめ細かな指導を行う。</p> <p>◆生徒指導体制を強化する必要があると認められる学校に加配講師を配置することにより、授業が軽減された生徒指導主事が中心となり、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させたり、いじめや暴力行為などの問題行動に対して迅速かつ適切に指導を行う。</p> <p>◆各学校において策定のいじめ防止基本方針に基づき枚方市生徒指導マニュアル（いじめ防止編）を用いた教職員の研修及び児童・生徒に対するいじめアンケートの実施、枚方市生徒指導マニュアル（体罰防止編）を用いた教職員の研修等により、いじめの未然防止と体罰の根絶に努める。</p>		<p>充実させたり、いじめや暴力行為などの問題行動に対して関係機関と連携し、迅速かつ適切に指導を行っている。</p> <p>各学校においては、1学期に児童・生徒に対するいじめアンケートと教育相談を実施し、いじめの未然防止に努めた。今後も学期に1回以上のアンケートを実施する予定である。また、いじめ事案は組織的に対処し、解消に向けて取り組んでいる。</p> <p>加えて、年度当初及び夏季休業期間中に、枚方市生徒指導マニュアル（いじめ防止編）（体罰防止編）等を用いた教職員研修を実施し、いじめの未然防止と体罰の根絶に努めている。</p> <p>※①平成 30 年 7 月末現在の暫定値（大阪府に報告している「平成 30 年度小・中学校におけるいじめの状況調査（4～7月）」が最新の数値であるため）</p> <p>※②A・Bとも平成 30 年 9 月末現在の暫定値</p>		<p>②暴力発生件数 A：小学校 B：中学校 （目標値の根拠） ①年度内に小・中学校において認知したいじめを100%解消する ②暴力行為発生件数が前年度より 10%減少</p>
		実績値 (①:%) (②:件)	①4.94 ②A：51 B：87	
		目標値 (①:%) (②:件)	①100.00 ②A：72 B：193	
		達成割合 (%)	①4.94 ②A：－ B：－	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子供たちの生きる力を育む教育が充実したまち		
	市長公約	—		
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画		
	関連計画	—		
		評価		

③	通学路等安全対策事業	担当課	児童生徒支援室
概要		事業費計 予算額 (千円)	21,535
<p>◆小学校 16 校の交通量が多く、信号機のない横断歩道や踏切等の通学路の危険箇所に対して、交通専従員、交通指導員を配置する。</p> <p>◆関係機関と連携した通学路の合同点検を実施する。</p> <p>◆学校園において、危機管理マニュアルを見直し、実践的な避難訓練を実施する。</p> <p>◆学校園においては、一般の安全指導の他、交通安全教室等を実施する。</p> <p>◆小学校において、胸骨圧迫と AED の取り扱いに特化した救命講習を実施する。</p> <p>◆小学校において防災キャンプを実施する。</p> <p>◆学校園において、メール配信システムを活用し、不審者情報や暴風警報等発令時の具体的な対応を関係機関、保護者に提供する。</p>		進捗状況	<p>◆小学校 16 校に交通専従員・交通指導員を配置し、登下校の安全確保を図っている。</p> <p>◆小学校を通じて報告のあった危険箇所について児童生徒支援室で集約し、「枚方市通学路交通安全プログラム」に基づき、道路管理者、教育委員会、警察署等で構成する通学路安全対策連絡会議で協議を進めている。9月に菅原東小学校区、氷室小学校区にて合同点検を実施した。</p> <p>◆市として統一した地震発生の対応及び大雨警報等発表時の対応を策定し、各学校園ではその内容も含めた危機管理マニュアルを見直している。また、内容がより充実したものになり、実践的な避難訓練を実施している。</p> <p>◆各学校において、交通安全教室及び救命講習が適切に実施されている。</p> <p>◆防災キャンプについては、5月に蹉跎小学校、9月に津田南小学校で実施し、1月に樟葉北小学校での実施に向けて準備を進めている。</p> <p>◆各学校園において、メール配信システムを活用し、緊急の情報等を保護者に提供している。</p>
		実績値 及び 目標値 の説明	通学路の安全を確保するために交通指導員等を配置した人数（交通量が多く、信号機のない横断歩道や踏切等の通学路の危険箇所に対して、交通指導員等を配置した人数。信号機の設置等で安全確保できたところから、交通指導員等を順次廃止する。） （目標値の根拠） 前年度実績
		実績値 (人)	57
		目標値 (人)	58
		達成割合 (%)	101.72



関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針		
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画		
	関連計画	—		

④	いじめ問題対策事業		担当課	児童生徒支援室
概要		進捗状況	事業費計 予算額 (千円)	2,782
<p>◆枚方市の関係部課と外部関係機関に属する者で構成される「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」の定例会を年3回開催する。</p> <p>◆枚方市学校いじめ対策審議会定例会を年2回開催する。また、必要に応じて臨時会を開催する。</p> <p>◆幼児対象人形劇の実施（「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」の取組の一つ）</p> <p>◆ひらかた学校支援チーム；弁護士、心理・福祉の専門家、校長経験者等で構成する支援チームが学校園を巡回し、幼児・児童・生徒の様子や学校園の状況を確認、助言を行う。</p> <p>◆「ストップ！いじめ」全小・中学校の新入生の保護者を対象に、いじめ問題に対する啓発冊子として配付。</p> <p>◆枚方市いじめ防止基本方針の改定及び概要版の作成・配付。</p>		<p>◆家庭と連携した「いじめ問題」防止の啓発のため、「ストップ！いじめ」を4月、小・中学校の新入生保護者に配付した。</p> <p>◆「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」の第1回定例会を5月に開催。今後10月、1月実施予定。</p> <p>◆いじめの未然防止のための幼児対象人形劇は、希望24施設のうち10施設において10月から12月に実施予定。</p> <p>◆枚方市学校いじめ対策審議会の第1回定例会を8月に開催。今後2月実施予定。</p> <p>◆枚方市学校いじめ対策審議会からの提言を踏まえ、枚方市いじめ防止基本方針を9月に改定し、学校園に通知した。これに基づいて、引き続き、いじめの未然防止、早期発見・早期解消に向けて取り組んでいる。また、枚方市いじめ防止基本方針の改定に伴い、概要版についても改定に向けて取り組んでいる。</p> <p>◆ひらかた学校支援チームで53回学校園を訪問し、学校における問題解決のための支援を行っている。</p> <p>※平成30年7月末現在の暫定値（大阪府に報告している「平成30年度小・中学校におけるいじめの状況調査（4～7月）」が最新の数値であるため） 【実績値】現在も各学校でいじめを受けた児童・生徒、いじめを行った児童・生徒等を見守り続けている。</p>	実績値 及び 目標値 の説明	認知したいじめの解消率（目標値の根拠） 年度内に小・中学校において認知したいじめを100%解消する。 小学校と中学校ではいじめの認知件数に差はあるが、ここでは小・中学校合わせた解消率とする。
			実績値 (%)	4.94
			目標値 (%)	100.00
			達成割合 (%)	4.94
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	
	市長公約	平成 28・29・30 年度市政運営方針		
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画		
	関連計画	—		

⑤	スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業		担当課	児童生徒支援室
概要		進捗状況	事業費計 予算額 (千円)	11,813
<p>◆配置または派遣する学校の教職員とのチーム体制によるケース対応</p> <p>◆教職員と連携した校内ケース会議のファシリテーションや福祉的手法のアドバイス</p> <p>◆小中合同ケース会議等、小・中学校教職員が協働した小・中学校間連携の推進</p>		<p>◆4中学校区に社会福祉士の資格を有するSSWを1人ずつ配置し、小学校5校に教員免許を有するSSW（4人）と社会福祉士の資格を有するSSW（1人）を1人ずつ配置している。</p> <p>◆社会福祉士の資格を有する配置または派遣した学校において、校内または拡大ケース会議のファシリテーショ</p>	実績値 及び 目標値 の説明	スクールソーシャルワーカー等の活動回数（目標値の根拠） SSW・SV 12回、チーフSSW 55回×4人、SSW 140回×5人

<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校と関係機関等との連携のコーディネート</li> <li>◆中学校派遣のスクールカウンセラーとの連携</li> <li>◆小中一貫教育を見据えた系統性・継続性のある生徒指導体制の構築</li> <li>◆枚方市教育委員会が開催する研修会、連絡会等への参加</li> <li>◆スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザーは、スクールソーシャルワーカーへの指導助言</li> <li>◆その他、教育長が認める事項に関すること</li> </ul>		<p>ンや福祉的手法を助言している。この中で、関係機関やSC等とも連携している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆枚方市教育委員会が開催している連絡会等を全7回中3回実施済み。</li> <li>◆スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザーは、これまで計15回、チーフ・スクールソーシャルワーカーへのスーパーバイズを実施している。</li> </ul>		実績値 (%)	404
				目標値 (%)	932
				達成割合 (%)	43.35
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	/	
	市長公約	平成28・29年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

## 基本方策8 学びを支える教育環境の充実

少子化の進行による児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化が進む中で、学校施設の更新や教育の情報化の推進など、より安全で充実した教育環境が求められています。また、教職員の多忙化が課題となる中で、教職員が授業や子どもたちと向き合う時間を確保するための取り組みが必要です。

多くの学校施設で建築後相当年数が経過し、老朽化が進んでいることから、学校施設を計画的に更新整備します。また、適正な学校規模とする学校配置等の適正化に取り組みます。

また、ICT（情報通信技術）を効果的に活用したわかりやすく深まる授業を実現するため、子どもが授業で使うICT機器を計画的に更新するなど教育の情報化を推進します。

さらに、教職員が子どもと向き合い、指導に専念できる時間をより多く確保するため、ICTを活用し通知表や指導要録等の事務処理を軽減するとともに、より効果的・効率的な学校運営に向けての見直しや、教職員の健康保持など勤務環境の整備に取り組みます。

安全で安心な給食を安定的に提供するため、老朽化が進む小学校給食調理場の計画的な更新整備に取り組みます。

### 主要事業の進捗状況

①	学校ICT機器等整備業務【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育政策課
---	---------------------------	-----	-------

②	学校園施設維持補修事業		担当課	まなび舎整備室
概要		進捗状況	事業費計 予算額 (千円)	1,626,254
◆「枚方市市有建築物保全計画」(以下「保全計画」とする。)に基づき校舎、園舎、体育館等の建物や電気・機械・給排水設備等施設全般の維持保全及び予防保全工事を行う。 ◆プール施設など、保全計画外の改修工事を行う。 ◆学校園からの要望に基づき学習環境の改善等に伴う施設の整備を行う。 ◆各施設の建築物・設備などの点検業務等を行う。		◆保全計画に基づく工事を21件、保全計画外の工事を8件実施する。また、学校園からの要望により、漏水修理や教室の扉修理、電気の器具修理を205件実施している。さらに、トイレのドライ方式への改造や多目的トイレの整備を行うトイレ改造工事を小学校5校・中学校3校を実施する。また、各施設の建築物や設備の点検及び、次年度の保全工事等の実施設計を行う。	実績値 及び 目標値 の説明	保全計画等の工事施工件数 (目標値の根拠) 保全計画等の施工予定件数
			実績値 (校)	37
			目標値 (校)	41
			達成割合 (%)	90.24
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	/
	市長公約	平成30年度市政運営方針		
	実行計画	平成28年度当初実行計画		
	関連計画	枚方市市有建築物保全計画		

③	学校施設整備事業		担当課	まなび舎整備室
概要		進捗状況	事業費計 予算額 (千円)	1,514,886
◆平成25年3月に、国から「学校施設の老朽化対策について(学校施設老朽化対策ビジョン)」が公表された。同ビジョンにおいては、「昭和40年代後半から50年代にかけて日本全国で多くの学校建設がなされ、施設の更新時期を迎えつつある中、安全面・機能面・環境面・財政面から老朽化対策が		◆平成29年度桜丘小学校・香里小学校、平成30年度第一中学校の長寿命化改修の実施設計が完了、引き続き工事を発注し、桜丘小学校については工事着手をしている。 また、津田中学校・樟葉小学校においては、長寿命化改修工事の実実施設計を発注し業務を進めている。	実績値 及び 目標値 の説明	基本設計・実施設計を実施した学校数 (目標値の根拠) 枚方市学校施設整備計画の第1期実施計画(前期)の整備校数

<p>必要である。従来は建築後 40 年程度で改築されていたが、技術的に構造躯体の延命は可能であることから、改築より費用面・環境面の負担が少なく、改築と同様の質的向上が図れる長寿命化改修へと転換することが必要である。」旨が述べられている。</p> <p>◆本市においても、多くの学校施設で建築後相当年数が経過し、老朽化が進行してきており、将来的な施設耐用年数の到来に伴い、多額の費用を要する施設の更新が一定期間に集中することから、本市財政への影響が懸念される。今後、財政負担の平準化やコストの削減を図りつつ、時代のニーズに適した教育環境の質的向上等に向けた学校施設へ更新していくためには、計画的な施設整備を図っていく必要があることから、国の「学校施設老朽化対策ビジョン」を踏まえた、学校施設整備に関する中長期的な計画の策定に取り組むものである。その後、策定した計画に基づき、学校施設の更新を順次図っていく。</p>		実績値 (校)	5
		目標値 (校)	5
		達成割合 (%)	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価
	市長公約	平成 29 年度市政運営方針	
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画	
	関連計画	枚方市学校施設整備計画	

④	学校規模等適正化事業		担当課	学校規模調整課
概要		進捗状況	事業費計 予算額 (千円)	—
◆将来における適正な学校の配置等を進めるため、審議会での答申を踏まえ、基本方針を策定し学校統合に向けた取り組みを進める。		◆「枚方市学校規模等適正化基本方針」に基づき、高陵小学校と中宮北小学校の学校統合の具体的な適正化方策を取りまとめた「実施プラン」の作成に向け、地域との意見交換を行い統合の同意が得られるよう取り組んでいる。	実績値 及び 目標値 の説明	実施プランの策定 (目標値の根拠) 実施プラン策定に関する 進捗状況
			実績値 (%)	0.00
			目標値 (%)	100.00
			達成割合 (%)	0.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針		
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画		
	関連計画	—		

⑤ 中学校給食充実事業		担当課	おいしい給食課
概要		進捗状況	事業費計(千円)
◆選択制の中学校給食について、喫食率向上に向けた取り組みを進める中で、生徒・保護者の意向も踏まえ、全員喫食への拡充を目指す。		◆選択制での中学校給食の喫食率については、各中学校やPTAと連携した取り組みや「第1回枚方市学校給食コンテスト」の実施等、目標喫食率確保に向けた取り組みを進め、平成28年度25.7%から平成30年度9月現在で33.2%に向上した。 ◆一方で、市長公約である全員喫食の実現に向けては、5つの新しい手法と4つの比較検討項目の作成を行い、検討を進めている。	—
			実績値及び目標値の説明
			実績値(%)
			目標値(%)
			達成割合(%)
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針	
	実行計画	平成28年度当初実行計画	
	関連計画	—	

## 基本方策9 基礎的な知識・技術の学習機会の提供と図書館の充実

社会が激しく変化し、複雑になる中で、生涯にわたり自らに必要な知識や能力を身に付けることが必要となっています。そうしたことを支えるためには、子育て、健康・医療・介護、職業、情報社会、安全・防災、環境問題など、様々な課題に関する学習機会が生涯にわたって提供されることが必要です。

それぞれの分野における様々な行政部門・団体との連携を強めながら、特に基礎的な知識・技術の学習機会の提供に取り組みます。

図書館においては、資料の計画的・系統的な収集などの基礎的な図書館サービスを充実するとともに、居心地の良い図書館空間の提供と図書館内外への積極的な情報提供などにより、市民の生活及び職業上の課題や地域課題の解決のための支援を強化します。

また、読書が果たす重要な役割を踏まえ、学校図書館に対する中央図書館の支援を強化するとともに、子どもの読書活動の推進のための取り組みや、成人の読書習慣と情報活用能力の向上に取り組みます。

### 主要事業の進捗状況

①	読書活動推進事業【再掲】※基本方策1に記載		担当課	教育指導課
②	社会教育活動推進事業		担当課	社会教育課
	概要	進捗状況	事業費計 予算額 (千円)	511
	<p>◆社会教育基礎講座…人が地域で生活していくために必要な基礎的な知識や技術の習得の機会を提供する。</p> <p>◆家庭教育支援事業…自分の子育てを振り返る機会を提供し、“気づき”を促す。また、親と子が協力し一つのことを成し遂げたり、何かを作ったりすることで、コミュニケーションを図り、父親の家庭教育への参加を促す講座を開催する。</p> <p>◆社会教育（人権）講座等…お互いの違いを理解し、尊重することの大切さについて考える機会の提供などを行う講座を開催する。</p>	<p>◆平成30年度は、『地域で守る大切な“あなた”』を共通のテーマに設定し、以下の事業を実施する。</p> <p>◆社会教育基礎講座は、「地域で支える認知症～誰もがいつまでも安心して暮らせる社会をつくる～」を予定（定員50人）。</p> <p>◆家庭教育支援事業は、「親子でさがそう！チリメンモンスター！」を開催（14組37人参加、定員15組30人）。「複雑化・深刻化する思春期の“いじめ”～子どもたちのSNSの現実、知っていますか～」を開催（29人参加、定員60人）。枚方市PTA協議会との共催の教育講演会を予定（定員360人）。親学び講座は開催希望団体を募集中。</p> <p>◆社会教育（人権）講座等は、「発達障がいのこと、知っていますか？～発達障がいのある大人の当事者からのメッセージ～」を予定（定員40人）。</p>	実績値及び目標値の説明	社会教育活動推進事業の募集人員に対する参加人数の割合 (目標値の根拠) 参加割合の目標値を80%とする
			実績値(%)	73.33
			目標値(%)	80.00
			達成割合(%)	91.66
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	評価	/
	市長公約	—		
	実行計画	—		
	関連計画	—		

③ 香里ヶ丘図書館建替事業		担当課	中央図書館
概要		進捗状況	事業費計
◆平成 29 年度に解体・基本設計を完成し、現香里ヶ丘図書館を閉館する。平成 30 年度から現図書館を解体し、香里ヶ丘中央公園の擁壁工事完了後、図書館建物を建設する。		◆平成 30 年 7 月に建物解体工事が完了、8 月に実施設計が完成した。 ◆平成 30 年 4 月から南部生涯学習市民センターに香里ヶ丘図書館代替サービススポットを設置。また、香里ヶ丘中央公園にて自動車文庫による巡回貸出を隔週で開始した。	予算額 (千円)
			125,800
			実績値 及び 目標値 の説明
			香里ヶ丘図書館建替事業期間(平成 28 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日)における、事業の進捗割合 (目標値の根拠) 事業完了を 100%とし、完了予定である平成 31 年度までの 4 年間で割った数値
			実績値 (%)
			62.50
			目標値 (%)
			75.00
			達成割合 (%)
			83.33
関連計画	第 5 次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	評価
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針	
	実行計画	平成 28 年度 12 月補正実行計画	
	関連計画	枚方市立図書館第 3 次グランドビジョン	

④ 中央図書館運営事業		担当課	中央図書館
概要		進捗状況	事業費計
◆幅広い分野の図書館資料を所蔵し、各図書館、分室、自動車文庫の貸出を支援するとともに、他の公共図書館との相互貸借、参考業務、児童サービスなどの中心となり各種図書館サービスを行う。		◆年間開館日数：150 日 貸出冊数（個人）：422,205 冊 予約受付件数（個人）：35,278 件 延べ利用者数：110,582 人 ◆枚方市こども夢基金を活用して、「子ども・未来実験室（ラボ）in としょかん」を開催。言葉をつかわないコミュニケーション・ワークショップや宇宙服の試着体験、宇宙航空研究開発機構（JAXA）准教授の山田哲哉氏を迎えた講演会などを行った。	予算額 (千円)
			73,183
			実績値 及び 目標値 の説明
			中央図書館来館者数 (目標値の根拠) 平成 24 年度～平成 26 年度の中央図書館来館者数の平均
			実績値 (人)
			269,319
			目標値 (人)
			591,867
			達成割合 (%)
			45.50
関連計画	第 5 次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	評価
	市長公約	—	
	実行計画	—	
	関連計画	枚方市立図書館第 3 次グランドビジョン	

⑤ 生涯学習施設及び図書館管理運営効率化事業		担当課	中央図書館
概要		進捗状況	
◆市民サービスの向上と、施設の効率的な運営の観点から、生涯学習施設と図書館の複合施設の図書館6館に指定管理者制度を導入する。		◆平成28年度に指定管理者制度を先行導入した蹉跎・牧野の複合2施設に加え、平成30年4月から楠葉・菅原・御殿山・津田生涯学習市民センターとの複合4施設に指定管理者制度を導入し、運営を開始した。	
		事業費計 予算額 (千円)	277,147
		実績値 及び 目標値 の説明	指定管理者制度を導入する施設数 (目標値の根拠) 当該年度に指定管理者制度導入を予定している施設数
		実績値 (施設)	6
		目標値 (施設)	6
		達成割合 (%)	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	
	市長公約	平成28・29年度市政運営方針	
	実行計画	平成28年度当初実行計画	
	関連計画	枚方市立図書館第3次グランドビジョン	
		評価	



# 基本方策 10 文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくりの推進

一人ひとりの市民が多様な個性・能力を開花させ、人生を豊かにすることができるようにするためには、豊かな文化・芸術にふれ、自然との関わりを持つことが大切です。

また、市民のふるさと意識やまちへの愛着を育むには、まちの歴史文化への理解を深めることが必要です。

さらに、社会の高齢化が進む中で、生涯にわたって健やかな生活を過ごすことを可能にするためには、健康な運動習慣を確立することが必要です。

社会教育と学校教育の連携を強化し、子どもたちが文化・芸術や自然の中での活動など、様々な体験ができる機会を確保します。

このような機会を提供することで、子どもたちをはじめとする市民が文化・芸術についての関心を深め、そこに喜びや楽しみを感じられるような環境整備に努めます。

また、文化財等の適切な保存を進めるとともに、特別史跡百済寺跡などの貴重な歴史文化遺産を生かして、子どもたちや市民の郷土の歴史への理解を深めるとともに、歴史の薫り豊かなまちづくりや文化観光への活用・発展を進めます。

また、各種スポーツ・レクリエーション活動の充実やスポーツ環境の整備に取り組むとともに、健康の維持増進を図るため、身近なところで誰もが取り組める健康スポーツの推進に取り組みます。

## 主要事業の進捗状況

① 特別史跡百済寺跡再整備事業		担当課	文化財課
概要		進捗状況	
◆平成 16 年度に測量調査実施、平成 17 年度から平成 25 年度の 9 年間で発掘調査を行い、並行して整備準備を行う。また、再整備に向け、平成 24 年度から平成 25 年度に基本計画の策定と基本設計を行う。平成 26 年度に実施設計を行い、平成 27 年度より再整備工事に着手している。		◆堂塔院内の回廊東半分の遺構面の確認のための発掘調査を 9 月から 10 月初めにかけて実施。その後、11 月から回廊東半分の基壇整備を実施する。	
		事業費計 (千円)	123,095
		実績値及び目標値の説明	当該年度の事業進捗割合 (目標値の根拠) 当該年度の事業進捗割合の完全実施
		実績値 (%)	0.00
		目標値 (%)	100.00
		達成割合 (%)	0.00
関連計画	第 5 次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標 19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針	
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画	
	関連計画	—	
		評価	

② 文化財啓発普及事業		担当課	文化財課
概要		進捗状況	事業費計 (千円)
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆文化財説明板の新たな設置や古くなった説明板の建替</li> <li>◆文化財防火デー（市と枚方寝屋川消防組合が、文化財を所蔵する社寺等で消防訓練を実施）</li> <li>◆歴史講座、歴史ウォーク（市内文化財めぐり等）</li> <li>◆枚方・百済フェスティバル（毎年5月に開催する古代の枚方と朝鮮半島の交流の歴史を伝えるイベント）</li> <li>◆文化財の展示（輝きプラザきらら2階展示ルーム等で、発掘調査の出土遺物等を展示）</li> <li>◆発掘調査現地説明会</li> <li>◆刊行物（文化財関係図書等）の発行など</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆文化財説明板の建替え、修繕候補を選定している。</li> <li>◆文化財防火デーの実施場所の検討、消防組合との協議を進めている。</li> <li>◆歴史講座は「古墳時代が終わるころ」をテーマに実施した（4回のうち2回実施）。また、生涯学習広域講座「聞く・見る・歩く北河内パート 19～河内鑄物師田中家をたずねて～」の10月開催や親子を対象とした市民歴史講座「ひらかたの歴史探検隊-枚方宿を歩こう-」の11月開催を予定している。</li> <li>◆枚方・百済フェスティバルを5月12日開催した。</li> <li>◆発掘調査の成果をもとに文化財展示会「ひらかたの後期古墳」を輝きプラザきらら展示ルームで開催している（7月10日～）。</li> <li>◆文化財だより8月・10月に発行（1月・4月発行予定）。</li> </ul>	1,740
			実績値及び目標値の説明
			歴史関連イベントの参加者数の累計 （目標値の根拠） 過去の実績をもとに年間1,800人と設定。イベントの開催状況により1年単位の実績数にばらつきがあるため累積数を目標値とする。
			実績値 (回)
			15,607
			目標値 (回)
			16,200
			達成割合 (%)
			96.34
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標 19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	評価
	市長公約	—	
	実行計画	—	
	関連計画	—	

③ 各種スポーツ大会等開催事業		担当課	スポーツ振興課
概要		進捗状況	事業費計 (千円)
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各種競技大会（総合体育大会等）の運営を公益財団法人枚方体育協会に委託し、実施。</li> <li>◆市内高校バレーボール大会を実施し、同競技の振興と青少年の健全育成を図る。</li> <li>◆ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方体育協会に委託して実施。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各種競技大会（総合体育大会等）の運営を公益財団法人枚方体育協会に委託し、実施している。</li> <li>◆市内高校バレーボール大会を4月29日に実施した（参加者：425人）。</li> <li>◆ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方体育協会に委託し、6月17日に実施した。（参加者：534人）</li> </ul> <p>※参加者については、各種大会が現在開催中であること、また、終了後の大会も集約中であることから、9月末現在の数値は出ていません。</p>	32,675
			実績値及び目標値の説明
			各種大会等参加者数 （目標値の根拠） 昨年度実績
			実績値 (人)
			—
			目標値 (人)
			25,000
			達成割合 (%)
			—
関連計画	第5次総合計画	基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標 6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	評価
	市長公約	—	
	実行計画	平成28年度当初実行計画	
	関連計画	—	

④		スポーツ推進事業		担当課	スポーツ振興課
		概要	進捗状況	事業費計 予算額 (千円)	226
		◆策定されたスポーツ推進計画に基づき、「だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支える」を基本理念として、関係部署と連携を図りながらスポーツ施策を推進していく。	◆スポーツ推進計画の具体的施策に基づき各所管部署で実施した平成 29 年度の事業について、実績の点検と評価を行うよう各課に依頼した。その内容を整理し、11 月に開催予定の枚方市スポーツ推進審議会で点検・評価を行う。  ※参加者については、各種大会が現在開催中であること、また、終了後の大会も集約中であることから、9 月末現在の数値は出ていません。	実績値 及び 目標値 の説明	スポーツ活動者数 (目標値の根拠) 昨年度実績
				実績値 (人)	—
				目標値 (人)	1, 130, 000
				達成割合 (%)	—
関連 計画	第 5 次 総合計画			基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標 6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	評価
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針			
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画			
	関連計画	—			

# その他の主要事業

## 主要事業の進捗状況

① 児童の放課後対策事業		担当課	社会教育課
概要		進捗状況	
<p>◆全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、本市の児童の放課後のありかたに関する基本的な考え方や、本市の取り組みの実績等を踏まえ、さらにさまざまな立場からの意見を聴取し、試行的に放課後子ども教室モデル事業を実施する。子どもにとって望ましい「放課後」を実現していくために今後策定する「児童の放課後を豊かにする基本計画」を踏まえ、本市の実情に即した児童の総合的な放課後対策の計画的な整備を適切かつ円滑に行う。</p>		<p>◆教育委員会の庁内委員会として設置した「児童の放課後対策検討委員会」（委員8人、幹事15人）を10月に開催予定。</p> <p>◆教育委員会の附属機関として設置した、「児童の放課後対策審議会」（委員11人）を6月に開催し、10月以降も年度内に数回開催予定。</p> <p>◆市立小学校4校で実施する放課後子ども教室モデル事業は、大阪北部地震の影響により、実施時期を6月18日～12月28日から、10月1日～平成31年2月16日に変更した。また、円滑な実施に向けて、実施校の校長を構成員とする放課後子ども教室モデル事業調整会議を3回（5月、6月、9月）開催した。</p> <p>※事業に対する満足度を測るため、児童及び保護者へのアンケートを11月及び2月に実施予定。</p>	
		事業費計 予算額 (千円)	11,844
		実績値 及び 目標値 の説明	児童及び保護者へのアンケート調査における放課後子ども教室モデル事業に対する満足度（目標値の根拠）満足及びやや満足の割合の目標値を80%とする
		実績値 (%)	—
		目標値 (%)	80.00
		達成割合 (%)	—
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	市長公約	平成29年度市政運営方針	
	実行計画	平成30年度当初実行計画	
	関連計画	—	
		評価	

② 留守家庭児童会室整備事業		担当課	放課後子ども課
概要		進捗状況	
<p>◆平成29年度からの対象学年の段階的拡大に向け、入室児童数の増加に対応するために必要な施設整備を行う。</p>		<p>◆磯島及び桜丘留守家庭児童会室の増築工事を終了し、平成30年4月1日より供用を開始した。</p> <p>◆平成30年11月から香陽留守家庭児童会室の校舎外専用棟の新築工事に着手する。平成31年4月1日に供用開始する予定。</p>	
		事業費計 予算額 (千円)	179,039
		実績値 及び 目標値 の説明	留守家庭児童会室建替等件数（目標値の根拠）留守家庭児童会室施設整備計画のとおり
		実績値 (件)	1
		目標値 (件)	1
		達成割合 (%)	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	市長公約	平成29年度市政運営方針	
	実行計画	平成28年度当初実行計画	
	関連計画	—	
		評価	